

こどもワークショップ「あなたがつくる！こども条例」について

こども条例の前文をこどもたちの意見を盛り込み、こどもたちの言葉で作るためにワークショップを開催しました。その結果は下記のとおりです。

（1）開催日時及び場所

令和6年8月3日（土）午後2時30分から午後4時30分

大口町健康文化センター 4階 ほほえみホール

（2）参加者

小学5年生から高校3年生相当年齢まで、参加申し込みのあった20名

（申し込み者は22名）

（3）概要

概要は次ページからの大口町こどもワークショップ NEWS LETTER をご覧ください。

あなたがつくる！ こども条例

未来に残そう。君の声 ～こども条例の 前文をつくろう！

NEWS LETTER

条例の前文をつくりました！

8月3日土曜の午後、健康文化センター4階ほほえみホールで、「あなたがつくる！こども条例 未来に残そう。君の声～こども条例の前文をつくろう！」を開催し、20人のこどもの参加がありました。

まず条例の前文について説明を聞いたあと、班ごとに大口町のいいところ、こどもたちが幸せに生きるために大切にしたいこと、望む未来について、アイデア（前文の素材）を出し合いました。次に、意見交換しながら、出されたアイデアの中から大事なものを選び出し、グループで1つの前文（案）をつけて朗読発表しました！

1 はじめに

今、大口町では「こども条例」をつくりています。これまで、アンケートをしたり、ワークショップを開いたりしてきました。条例というものは、住民の権利や約束ごとを文章にするものです。この条例は、議会の議決を経てつくるとても重要なものです。

今回みなさんに考えてもらう「前文」は、条例をどんな目的でつくったか、どんな思いが込められているかを条例の一番はじめの部分で示すものです。

条例は一度つくるとこの先ずっと残っていくもの。きっと100年先もこのまま残っているんじゃないかなと思っています。100年先に残るものを作るという、とても貴重な機会。こどもの意見を反映しながらいっしょにつくることを、私たちも楽しみにしています。今のみんなの気持ちを素直に表していただいて、ワクワク楽しい時間を過ごしていただけたらと思います！



健康福祉部 小島部長



2 こども条例の前文について

大口町こども条例って？なんでつくるの？

●条例は、大口町がつくる法律にあたる約束ごと・きまりです。今回のこども条例は、こどもたちが幸せに暮らせるようにするために約束ごと。だから条例には、大切なこどもの権利に加え、町役場や大人の責任・役割など、こどもたちが幸せに暮らせるようにするために必要なことを書きます。



こども課
平子さん

●こどもの権利が尊重され、こどもが安心してすこやかに学び、育つことができること、こどもが思いや願いを口にすることができる、社会への積極的な参加ができるよう、こどもに関するすべての関係者が連携し、協力するために条例をつくります。条例をつくることでそれが指針になり、みんなが同じ考えを共有して同じ目的に向かって進むことができます。

なんで前文？

●条例のはじめにある前文は、条例をどんな考え方や思いでつくったかや目的など、「条例の一番大切なこと」が書かれます。

●最も「大口町らしさ」を出すことができるのも前文。こども条例の大好きな前文だからこそ「みなさんといっしょに考え、みんなの言葉でつくりたい」と思っています！

③ グループワーク「素材集め～前文をつくろう！」

グループごとに、①大口町のすきなこと、いいと思うところ、②こどもたちが幸せに生きるために大切にしたいこと、③あなたが未来に残したいもの、望む未来は？について、ふせんに書いてアイデアを出し合いました。そして意見を交換しながら、出されたアイデアの中から前文に入れたいものを選んで文章にし、グループで1つの前文（案）をつくって発表しました。

Aグループ

私たちの町
大口は、さくらが美しく自然豊かな町です。また、人がやさしく、あいさつが飛び交う町です。



子どもが笑顔になれるいこいの場所がたくさんあります。子どもは自分の意見をおもうまに大人に伝え、やりたいと思ったことができまます。そして学ぶための場所が多くあります。

わたしたち子どもは、いつも笑顔でいることができます。いこいの場が多くあり、自然豊かだからこそ健康で遊び、学ぶことができます。これらのかんきょうを最大げんいかし、大人になんでも住み続けたいと思える大口町の未来をめざし、ここに条例を定めます。

Cグループ

私たちの町大口は、桜がきれいできれいなや田畑、やさしい人が多く、いろいろなしせつがととのっている町です。

こどもは、自分の意思表示をはっきり伝えることができて、おとなは挫折した人を助けて、頑張っている人を応援します。

私たち子どもは、田んぼや畑、桜、川などの自然や優しい町民たちを守りつつ、駅などの公共施設や商業施設をより発展させていき、充実して住みやすい町を目指し、この条例を定めます。



Bグループ

わたしたちの町大口は、桜がとてもきれいで緑ゆたかで自然がたくさんあります。また、教育も充実しています。さらに行事が多く、ボランティア活動もさかんで、とても楽しく、すみやすい町です。



子どもは、幸せに生きるために、お祭りや公園などの息抜きをしながら遊べる場を必要と考え、大人の助けを求めるることができます。また親に「ほしい」や「いきたい」などの気持ちを言葉で表することができます。大人は子どもの意見を尊重します。地域は子どもがすごしやすい環境を作ります。

わたしたち大口町は、あたたかな陽を浴びて育つ桜の木のように、豊かな自然の中で、おとなたちに見守られ、わたしたち自身でのびのびと健やかに育つことができる未来を目指します。また、これまで大人たちが育んできた文化を、より良い形で残し、次の世代のこどもたちにとっとも暮らしやすい大口町へとつなげていきます。

Dグループ

私達の町大口は自然豊かで桜や田んぼ、五条川などが見られる町です。また、公園や学校などの公共施設も充実しています。さらに、地域住民も優しく笑顔あふれる町です。



こどもは自然豊かな町の施設を活かし、地域の方々とふれあうことで、様々な将来の可能性を広げ豊かな心を育むことができます。大人は人との関わりや自然の大切さを教えると共にこどもの意見を尊重し、規則を守っていきます。

私達子どもは、五条川の桜や田んぼなどの美しい自然を守り、たくさんの公園やきれいな学校を最大限活かして行きます。そして、全ての世代の人がつどい、さらに活気あふれる町にしていきます。

④

こどもたちの
作成した文章
を尊重し、
ほん
原文のまま
掲載しました。

お問い合わせ **NPO 法人まちねっと大口**

TEL・FAX (0587) 22-6642

※月～土（祝日除く）9:00～17:00 (12～13時除く)

✉ E-mail machinet@heart.ocn.ne.jp